

てしかが歴史写真館 209



現代はカヌーに乗ってオヤコツ地獄へ

湖水の波は風起るや直に浪立

—松浦武四郎メモリアルイヤー—

ヲヤコツモシリ(現在の和琴半島)の火坑(ボツケイ)で激しい火山活動を目の当たりにし、自然の脅威を体感した武四郎さん。しだいに目がくらみ、恐ろしくて気もそぞろになり、早々に帰ろうとします。しかし気が付くと、強い西風が吹き、高波が立ち始めていました。乗っていた小さな舟では漕ぎだすことも無理なので、仕方なく火坑のそばに座って風が収まるのを待つことに。そのとき、同乗していたアイヌが武四郎さんに教えました。

「湖の波は海の波とは違って、風が吹けばすぐに波が立ちますが、風が止めばすぐに収まります。海の波は風雨の後、一日二日過ぎてから大波になって打ち寄せます」

日が暮れかかると、一段と火坑の火がますます照り輝いて見え、その場にいた人たちの顔も照らし出されました。しだいに、その光が広い湖面にも映るようになります。「辛苦の多い旅ではあるが、時にはこういった愉しみもあるなあ」と武四郎さんの感慨もひとしお。いつの間にか風は静まり、湖は砥石のように波ひとつない風となり、再び舟を浮かべて無事にクッチャロ(当時の集落)へ戻ることができたのです。

「夏の夜は胡沙吹こめし朧夜のおぼろのままにしらみ初めけり」
現在、オヤコツ地獄へは湖上からしか近づくことができません(展望台から下りることは禁止されています)。また、屋斜路湖は気象状況が急変しやすいことでも知られています。先人の教訓を心に留め、トコロカムイ(湖の神)と付き合ひましょう。

てしかが郷土研究会(斎藤)

2018.9
てしかが

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

Public relations magazine

2018.9

No.769

てしかが

「弟子屈高校創立70周年」

1948年の開校から今年で70年。地域に根差した教育活動を大切にしてきた同校ですが、生徒数が減少し存続のための岐路に立っています。本紙16ページからの特集では、今の弟高、これからの弟高を考えます。



主な内容

- ② 認定こども園の名称が決定……………
- ⑤ 第15回こどもフェスティバル……………
- ⑥ 協力隊通信……………
- ⑧ 防災フロンティアコーナー……………
- ⑩ 弟子屈高等学校創立70周年……………
- ⑫ 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………